

令和 4 年度
燕市教育行政評価結果報告書

目 次

I. はじめに

1. 点検・評価の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 教育行政評価委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 点検・評価の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

II. 点検・評価の結果

【令和 4 年度評価対象事業】

1. 「令和 4 年度 評価対象事業一覧」・・・・・・・・・・・・・・ 3
2. 「情報社会の必須スキル「読解力」育成プロジェクト」・・・・・・ 5
3. 「言語・発達障がい通級指導教室運営費」・・・・・・・・・・・・・・ 7
4. 「部活動外部人材活用事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
5. 「児童クラブ運営事業」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
6. 「地域子育て支援講座事業」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
7. 「全天候型子ども遊戯施設整備事業」・・・・・・・・・・・・・・ 15
8. 「埋蔵文化財事業」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
9. 「生涯スポーツ振興費」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
10. 「ビジョンよしだ大規模改修事業」・・・・・・・・・・・・・・ 21

【第 2 次燕市学校教育基本計画】

11. 「第 2 次燕市学校教育基本計画」・・・・・・・・・・・・・・ 31

III. 教育委員会の事業一覧

1. 令和 4 年度に実施した主要事業一覧・・・・・・・・・・・・・・ 35

IV. 教育委員会の会議及び教育委員の主な活動状況

1. 教育委員会の会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
2. 総合教育会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
3. 教育委員の視察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
4. 教育関係会議への出席・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54

I. はじめに

1. 点検・評価の目的

燕市教育委員会では、市民に信頼される公正で透明、簡素で効率的な教育行政の実現を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定に基づき、毎年、主要な施策及び事務事業の取組状況について点検評価を行い、課題を明らかにし、今後の方向性を示しています。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

【燕市教育大綱に掲げる基本方針及び施策】

基本方針 1 地域に根ざした教育の推進・子育て支援

施策 1 知・徳・体を育成する教育の推進

施策 2 安心して産み育てられる子育て支援

基本方針 2 市民が主役の健康づくり・生きがいづくり

施策 1 健全な心と体を支えるスポーツの推進

施策 2 心豊かな生涯学習・文化活動の充実

2. 教育行政評価委員

(敬称略)

氏 名	役 職 等
委員長 原 田 完 二	元長岡市立寺泊小学校長
副委員長 小 林 理恵子	元燕市総合計画審議会委員
委 員 大 橋 和 明	元燕市立燕西小学校 PTA 会長

3. 点検・評価の実施状況

令和 4 年度に実施した全ての予算事業とその上位目標である施策の中から、9 事業について教育行政評価委員から選定していただき、評価を行っていただきました。

また、第 2 次燕市学校教育基本計画についても点検及び評価を行っていただきました。

開 催 日	出 席 者	委 員 会 内 容
令和 5 年 6月22日（木）	委員 3 名、教育次長、こども政策部長、教育委員会主幹、学校教育課長、こども未来課長、社会教育課長及び事務局職員 10 名	・ 事業評価作業 ・ 第 2 次燕市学校教育基本計画の評価作業
令和 5 年 7月24日（月）	委員 3 名、教育次長、こども政策部長、教育委員会主幹、学校教育課長、こども未来課長、社会教育課長及び事務局職員 10 名、見学者 3 名	・ 報告書の確認

Ⅱ. 点検・評価の結果

令和4年度 評価対象事業一覧

事業名	評価委員の評価
情報社会の必須スキル「読解力」育成プロジェクト	- 現在の社会は情報量が多くなり、誤った情報を見極める必要がある。この事業を通して児童が情報を自分で考え見極めることができるようになってほしい。 - 情報化社会となり、より読解力が求められる。読解力がなければ全体的な学力が落ちていく。どんどん取り組んでいただきたい。 - アンケートの結果から教員が主体的に取り組んでいる事業の様子がうかがえる。今後も教員の主体性を伸ばしてもらいたい。 - 事業を通して得た授業改善の方法について他教員にも共有していただきたい。
言語・発達障がい通級指導教室運営費	- 燕市内の中学校ではじめての通級指導教室ができ、中学生への支援の拡充に期待している。 - 児童生徒が言語・発達障がいを個性として感じられる環境作りを進めていただきたい。
部活動外部人材活用事業	- 研修を行うことで、指導員が指導全体に責任を持つようになり良いと思う。目的が教員の負担軽減ということなのでその視点でぜひ進めてほしい。 - ボランティアではなく指導者としての報酬を支払うことによって指導員の確保につながり、また指導員の経歴について保障される。 - 指導員の評価を行い指導員にフィードバックしていただきたい。
児童クラブ運営事業	- 特別な配慮を必要とする児童に対応するために児童クラブのスペースも職員も不足している。派遣職員を活用して職員を充実させていただきたい。 - 子どもが遊べば、けがをすることはあると思う。保護者にけが等のトラブルが起こることを理解して入所していただく必要がある。働く保護者にとって重要な事業である。学校との連携を図りながら、これからも続けていただきたい。

地域子育て 支援講座事業	- この事業をさまざまな方法で周知していただきたい。LINE で周知するのはどうか。 - 転居してきた人にとっては、子育て関係の友達ができることでストレスの軽減につながる。特に BP プログラムを受ける年代の人の交流を生んでほしい。 - 燕市の婚活事業で男性だけ集めて研修をしている。この事業でも男性だけを集めて子育て中の母親の感情などについて研修をしてもいいのではないかなと思う。
全天候型子ども 遊戯施設整備事業	- 建設費が上がっているため金額が高くなるのは仕方がないと思う。素晴らしい案がプロポーザルで選ばれたと思う。スケジュール通りに進むことを期待している。 - 新潟は晴れることが少ない。全天候型の施設ということで、新潟の天候に慣れていない県外から転入してきた人にとって特にいい施設になると思う。
埋蔵文化財事業	- 遺跡の現地説明会は、子どもたちが興味を持つ事業であり、郷土愛を育み、歴史を学ぶいい機会になると思う。 - 燕市には遺跡が意外とたくさんある。燕市の歴史を知ってもらえる機会として今後の周知もお願いしたい。 - 機会があれば近隣の学校の児童、生徒にも遺跡調査を見学してもらいたい。生の歴史を体験できる良い機会。
生涯スポーツ 振興費	- コロナ禍の中、スポーツ教室、大会が充実した内容で行われていたことが分かった。 - 燕さくらマラソン大会の全国的な認知度も上がっていると聞いている。ぜひこれからも参加人数を増やし、盛大な大会となることを期待している。 - 燕さくらマラソン大会を観光と一層結び付けていただきたい。
吉田トレーニング センター（ビジョ ンよしだ）大規模 改修事業	- 引き続き利用者の増加を目指してほしい。 - 空前のトレーニングブームということもあるので、分かりやすいPR をしてほしい。 - 高齢者が運動をすることで健康になり医療費を削減できると思うのでこれからも期待しています。

令和 4 年度 教育行政評価報告書

検項目	情報社会の必須スキル「読解力」育成プロジェクト
4 年度達成目標	・ 市内小中学校において、「読解力の向上」を研修テーマとした教員研修を実施する学校数 <u>目標 20 校</u> ・ RST（リーディングスキルテスト）を受検した学年ごとの平均能力値を前年と比較して上昇した分野数の割合（％） <u>目標 50％</u> ・ 小学校 6 年生と市内中学校 1・2・3 年生の標準学力調査において、偏差値平均が 50 以上の教科の割合（％） <u>目標 70％</u>
目標の達成状況	・ 市内小中学校において、「読解力の向上」を研修テーマとした教員研修を実施する学校数 <u>実績 20 校 達成率 100％</u> ・ RST を受検した学年ごとの平均能力値を前年と比較して上昇した分野数の割合（％） <u>実績 64％ 達成率 128％</u> ・ 小学校 6 年生と市内中学校 1・2・3 年生の標準学力調査において、偏差値平均が 50 以上の教科の割合（％） <u>実績 50％ 達成率 71.4％</u>
取組の概要	・ 5 月～ 各校で「読解力の育成」の教員研修を実施 ・ 11 月 全体研修会・講演会を実施（会場：燕西小学校） 講師：国立情報学研究所センター長：新井紀子氏 ・ 11 月～ 市内全小中学校で RST を実施 ・ 通年 読解力育成に関連した教職員の研修会を実施
自己評価	・ 教科書や問題の文章を正しく読み解く力が向上している。また、授業改善の取組により、教職員の指導力の向上が図られつつある。 ・ 今後は、RST の診断結果を活用した学びの充実、読解力育成の支えとなる教育プログラムの実施等、更なる取組が必要である。
評価委員の評価	・ 現在の社会は情報量が多くなり、誤った情報を見極める必要がある。この事業を通して児童が情報を自分で考え見極めることができるようになってほしい。 ・ 情報化社会となり、より読解力が求められる。読解力がなければ全体的な学力が落ちていく。どんどん取り組んでいただきたい。

	・ アンケートの結果から教員が主体的に取り組んでいる事業の様子がうかがえる。今後も教員の主体性を伸ばしてもらいたい。 ・ 事業を通して得た授業改善の方法について他教員にも共有していただきたい。
今後の方向性	・ RST の診断結果を活用した学びの充実、読解力育成の支えとなる教育プログラムの実施等、更なる取組を進めることにより、読解力の育成が一層図られるようにする。 ・ 今後も、「読解力の向上」を研修テーマとした教員研修を継続しRS ノートの活用等、個別に学びが進められるよう取り組んでいく。

【所管：学校教育課】

令和 4 年度 教育行政評価報告書

点検項目	言語・発達障がい通級指導教室運営費
4 年度達成目標	・ 子どもの自立を目指し、障がいによる困難を改善・克服するため、子ども一人一人の状況に応じた指導目標を立て、学びやすいように教材や教具を工夫しながら指導を行う。 ・ 令和 5 年度、中学校に通級指導教室を設置する。
目標の達成状況	・ 一人一人の状況に応じた指導目標、計画を立て、定期的、継続的に指導をすることで、障がいによる困難を改善・克服し、通級による指導を終了した児童が 38 名。 ・ 令和 5 年 4 月、市立中学校に在籍する全生徒を対象とする発達障がい通級指導教室が、吉田中学校に設置された。
取組の概要	●令和 4 年度 通級指導教室の設置数 ・ 言語障がい通級指導教室：3 校（燕西小、吉田小、分水小） ・ 発達障がい通級指導教室：1 校（吉田南小） ●令和 4 年度 通級による指導の終了人数 ・ 言語障がい通級指導教室：30 名（年間 88 名利用） ・ 発達障がい通級指導教室：8 名（年間 34 名利用） ●令和 5 年度 吉田中学校に発達障がい通級指導教室設置
自己評価	・ 通級指導教室担当者の専門的指導により、障がいによる困難を改善・克服した児童が多く見られた。 ・ 令和 4 年 7 月に実施した、本市の通級指導教室のニーズ調査から、障がいによる困難さを抱える中学生が複数いるという結果を受け、小学校卒業後も適切な支援を行う体制として、吉田中学校に発達障がい通級指導教室を設置することができた。
評価委員の評価	・ 燕市内の中学校ではじめての通級指導教室ができ、中学生への支援の拡充に期待している。 ・ 児童生徒が言語・発達障がいを個性として感じられる環境作りを進めていただきたい。
今後の方向性	・ リーフレット等を活用し、通級指導教室について保護者の方から正しく理解していただけるように努める。 ・ 市内の通級指導教室のニーズを把握し、通級指導教室の設置等の

	必要性について検討していく。そうすることで、通級指導教室での指導が必要と判断された児童生徒が適切に指導を受けられる環境を整える。 • 今後も、より効果的な指導支援ができるよう指導法や教材、教具を工夫していく。
--	---

【所管：学校教育課】

令和 4 年度 教育行政評価報告書

点検項目	部活動外部人材活用事業
4 年度達成目標	部活動指導員を中学校に配置し、教職員の負担軽減を図り、生徒一人ひとりの生徒の実態に応じた部活動指導の充実を図る。また、部活動指導員に対する研修を行い、より優れた指導者の育成を図る。
目標の達成状況	●部活動指導員の人数 令和3年度：11人 令和4年度：11人 ●部活動指導員研修の実施について 令和3年度：なし 令和4年度：年度初に1回実施
取組の概要	部活動を通じて、生徒の心身の成長と競技力の向上を図るため、教員と協力しながら、部活動の技術指導や運営を担う指導者を配置する。これにより、特に該当部活動の指導経験のない教職員の負担軽減を図るとともに、生徒にとっても優れた技術指導を受けられるようにする。
自己評価	令和4年度においては、11人の部活動指導員が関わったことで、学校の教職員の負担軽減が図られた。該当年度の部活動指導開始前の4月上旬に指導研修を実施したことで、開始時より指導者の質を高めることにもつなげられた。令和5年度から始まる休日の地域クラブ活動では、部活動指導員が指導者になることが見込まれ、それにつながる取組・準備が進められたとも考える。
評価委員の評価	- 研修を行うことで、指導員が指導全体に責任を持つようになり良いと思う。目的が教員の負担軽減ということなのでその視点でぜひ進めてほしい。 - ボランティアではなく指導者としての報酬を支払うことによって指導員の確保につながり、また指導員の経歴について保障される。 - 指導員の評価を行い指導員にフィードバックしていただきたい。

今後の方向性	• 引き続き指導員の確保に努めることにより、教員が教材研究や生徒への相談対応といった業務に充てる時間を確保できるようにしつつ、生徒の部活動指導の質・量を維持することを目指す。 • 市教育委員会、学校、指導員との情報共有、及び指導員に対する評価指導により部活動指導を通じた生徒の健全育成が図られるよう努める。 • 現在進めている部活動地域移行に向けた取り組みにつながる事業であるため、双方の取り組みを連携して効果的に事業を展開できるよう努める。
---------------	---

【所管：学校教育課】

令和 4 年度 教育行政評価報告書

点検項目	児童クラブ運営事業
4 年度達成目標	放課後児童健全育成事業に基づき、児童の健全育成と保護者の就労を支援する。 市内小学校の児童数は減少傾向にあるものの、共働き世帯の増加や核家族化により児童クラブのニーズは高まっている。ハード・ソフト両面で受入れ環境を整備するとともに、コロナ禍においても安全で安心して過ごせる環境とする。
目標の達成状況	ハード面では新型コロナウイルス感染症の感染拡大や世界情勢の不安定さにより部材等の納品が遅れ、工期を延長せざるを得ないこともあったが、年度内に完了することができた。 ソフト面では、児童の事故が 14 件発生し、安全面での課題が生じた。全施設の机の辺にもコーナークッションを設置するなど、こどもの予測不能な行動にも対応できる対応を始めた。
取組の概要	【ハード面（施設・設備）】 ・西小第三児童クラブの開設 ・西燕児童館（児童クラブ）の空調設備改修 ・燕北児童クラブ（北のなかまの会）の開設 ・Wi-Fi 設備の整備 【ソフト面】 ・児童クラブ巡回アドバイザー制度の導入 ・各種研修会の実施、情報提供 ・感染症対策の徹底 ・安全対策の実施、事故初動対応の強化 ・人材派遣会社（派遣職員）の活用
自己評価	・運営面において、人材の確保がままならない中、感染症罹患により勤務ができない職員が発生するなど、勤務シフト作成に支障をきたし、現場職員に負荷がかかる状況が続いた。 ・支援の必要な児童への対応や保護者対応において苦慮する面もあったが、学校やこどもサポート係からの支援と連携により適切に対応することができた。

評価委員の評価	・ 特別な配慮を必要とする児童に対応するために児童クラブのスペースも職員も不足している。派遣職員を活用して職員を充実させていきたい。 ・ 子どもが遊べば、けがをすることはあると思う。保護者にけが等のトラブルが起こることを理解して入所していただく必要がある。 ・ 働く保護者にとって重要な事業である。学校との連携を図りながら、これからも続けていきたい。
今後の方向性	・ 今後も学校と連携を図りながら、児童クラブのスペースの確保等に努める。 ・ 今後も人材派遣や長期休業中の加配により、職員の充足を図る。 ・ 児童クラブで、けが等が発生した際は、保護者へ確実に報告して理解いただくとともに、けがの度合いによっては、事故報告書にまとめ、再発防止策を担当課と共有することを徹底する。

【所管：子育て支援課/学校教育課】

令和 4 年度 教育行政評価報告書

点検項目	地域子育て支援講座事業
4 年度達成目標	同年代の子どもを持つ母親同士が子育ての不安や悩みを話し合い、自分に合った子育てを考えることを目的とする「BP プログラム」と「NP プログラム」を実施する。 ※BP プログラム(Baby Program)…2～5 ヶ月の第一子とその母親を対象にした、母親の仲間づくり・親子の絆づくり・学びを効果的に支援・サポートするプログラム ※NP プログラム…(Nobody's Perfect Program)…1 歳から 3 歳までの子どもを持つ親を対象にした、参加者それぞれが抱えている悩みや関心事を話し合いながら、自分に合った子育ての仕方を学ぶプログラム
目標の達成状況	新型コロナウイルス感染症の影響により参加者が集まらなかったり、開催当日に体調不良等による欠席で全員揃わなかったりした回もあったが、コロナ禍においても予定していたほぼ全ての講座を実施することができた。
取組の概要	【BP…全 4 コマの講座(定員 6～12 人)】 ・第 1 回(5 月/きらら/定員 6 組、申込 7 組、全出席人数 27 人) ・第 2 回(8 月/こどもの森/定員 10 組、申込 9 組、全出席人数 27 人) ・第 3 回(11 月/こどもの森/定員 10 組、申込 6 組、全出席人数 20 人) ・第 4 回(2 月/すくすく/定員 12 組、申込 8 組、全出席人数 32 人) 【NP…全 6 コマの講座(定員 10 人)】 ・第 1 回(6～7 月/すくすく/定員に満たず中止) ・第 2 回(9～10 月/こどもの森/定員 10 組、申込 8 組、全出席人数 44 人) ・第 3 回(10～11 月/きらら/定員 6 組、申込 5 組、全出席人数

	29 人)
自己評価	参加者のアンケートより、すぐに相談し合える子育て仲間ができた等、プログラムの満足度は高いようだった。BP 講座参加者はその後積極的に子育て支援センターを利用していると施設から報告があり、継続した支援につながっていると考える。令和 5 年度も継続して講座を開催していく。
評価委員の評価	・ この事業をさまざまな方法で周知していただきたい。LINE で周知するのはどうか。 ・ 転居してきた人にとっては、子育て関係の友達ができることでストレスの軽減につながる。特に BP プログラムを受ける年代の人の交流を生んでほしい。 ・ 燕市の婚活事業で男性だけ集めて研修をしている。この事業でも男性だけを集めて子育て中の母親の感情などについて研修をしてもいいのではないかと思う。
今後の方向性	・ 情報が若い世代にしっかりと届くよう、子育てアプリや市の SNS ツールを使って周知を図る。 ・ 11 月に家族の大切さや家族で過ごす時間の大切さについて理解を深める「家族の日・週間」があり、関連したイベントを児童館で開催する予定。男性の育児参加に関してワークショップや困りごと相談会なども予定しているため、そちらに繋げていく。 ・ 充実した子育てに繋がるよう細やかな対応を続け、「子育てするなら燕市で」と実感できる事業に育てる。

【所管：子育て支援課/こども未来課】

令和 4 年度 教育行政評価報告書

点検項目	全天候型子ども遊戯施設整備事業
4 年度達成目標	令和 6 年度中のオープンを目指し、令和 3 年度に引き続き全天候型子ども遊戯施設整備を行う。令和 4 年度の計画では下記の 3 点を行うこととなっていた。 ①施設建設事業地の用地買収 ②施設建設事業地の造成工事開始 ③施設設計者の選定（公募型プロポーザル方式により選定を行う）
目標の達成状況	①当市が必要とする用地を全て購入できた。 ②造成工事の入札を行い、建設事業者を決定し、工事を開始した。 ③公募型プロポーザル方式により施設設計者を選定した。
取組の概要	①施設建設事業地の用地交渉を行い、売買契約を締結する。 ②施設建設事業地は現況が田であることから、施設建設のために土地の造成工事を行う。 ③公募型プロポーザル方式を行い、金額だけではなく、提案内容の評価により、設計者を選定する
自己評価	上記記載の通り、令和 4 年度に行うべき内容を全て行うことができた。令和 5 年度、6 年度も引き続き計画通り事業を進める。
評価委員の評価	・ 建設費が上がっているため金額が高くなるのは仕方がないと思う。素晴らしい案がプロポーザルで選ばれたと思う。スケジュール通りに進むことを期待している。 ・ 新潟は晴れることが少ない。全天候型の施設ということで、新潟の天候に慣れていない県外から転入してきた人にとって特にいい施設になると思う。

今後の方向性	・ 市民の皆様のご期待に応えられるよう、今後も遅滞ない工事等の進捗を目指す。 【令和5年度に実施する内容】 ・ 本体工事入札 ・ 本体工事 ・ 運営方針、管理運営方法の決定、等
---------------	---

【所管：子育て支援課/こども未来課】

令和 4 年度 教育行政評価報告書

点検項目	埋蔵文化財事業
4 年度達成目標	市内に所在する埋蔵文化財を適切に保護するとともに、発掘調査等により地域の歴史を明らかにし、その成果を公開・活用することで市民の地域理解の一助とし、埋蔵文化財に対する理解と保護意識の向上を図る。
目標の達成状況	各種開発と埋蔵文化財保護の調整を図り、記録保存のための本発掘調査の他、試掘・確認調査や工事立会等により必要な埋蔵文化財の保護措置を講じた。 発掘調査等によって得られた資料を適切に保管するとともに、調査成果を公開して埋蔵文化財の魅力を発信し、埋蔵文化財への関心や保護意識の向上に努めた。
取組の概要	1. 発掘調査等事業 ①石港遺跡 本発掘調査（大河津分水路改修） ②野沖遺跡ほか 試掘・確認調査（県営圃場/富永・吉栄地区） →野沖遺跡、仲沖遺跡の取扱い協議中 ③小高地区 試掘調査（国道 289 号燕北道路、市道中央通小高線） ④分水西部地区 試掘調査（市土地改良事業/分水西部地区） ⑤新保境遺跡 確認調査（宅地開発）→工事立会 ⑥長渡遺跡 確認調査（社屋建築）→工事立会 ⑦六兵衛遺跡 確認調査（個人住宅）→工事立会 ⑧その他、工事立会等 2. 埋蔵文化財公開・活用事業 ①石港遺跡 発掘調査現地説明会の開催 期日：令和 4 年 11 月 3 日（木） 会場：石港遺跡発掘調査現場 参加者数：217 人 内容：発掘調査現場を公開し、調査員により遺跡の概要や出土品を解説。大河津分水開削工事に関する出土品も展示。 ②燕市遺跡出土品展「大河津分水周辺の遺跡」の開催

	期日：令和 5 年 3 月 4 日（土）～5 日（日） 会場：中央公民館 参加者数：303 人（前年度：201 人）、 展示説明会：68 人（前年度：28 人） 内容：大河津分水通水 100 周年にちなみ、大河津分水周辺に存在する遺跡を紹介し、地域の歴史や地理環境などを紹介した。併せて、令和 4 年度に実施した発掘調査成果を速報的に展示公開した。 なお、4 日（土）には展示説明会を開催し、多くの方の参加を得た。
自己評価	1. 発掘調査事業 各種開発への対応は、随時、開発事業者と協議し、文化財保護法に照らして遺跡の取り扱いを決定している。 2. 埋蔵文化財公開・活用事業 本発掘調査の一環で石港遺跡の現地説明会を開催した。記録保存のための発掘調査は、遺跡が現場に残らないため、遺跡現場に触れる貴重な機会として多くの来場者を得た。 また、毎年開催している遺跡出土品展では、石港遺跡調査の影響もあり、コロナ禍以前の平成 30 年度より多くの方に来場いただいた。
評価委員の評価	・ 遺跡の現地説明会は、子どもたちが興味を持つ事業であり、郷土愛を育み、歴史を学ぶいい機会になると思う。 ・ 燕市には遺跡が意外とたくさんある。燕市の歴史を知ってもらえる機会として今後の周知もお願いしたい。 ・ 機会があれば近隣の学校の児童、生徒にも遺跡調査を見学してもらいたい。生の歴史を体験できる良い機会。
今後の方向性	・ 引き続き、埋蔵文化財の保護に関し開発事業者への丁寧な説明と協議により適切な保護措置を講じる。 ・ 遺跡出土品展等の調査成果の公開を継続していくとともに、特に子どもたちへの学習機会など、PR 方法を検討する。

【所管：社会教育課】

令和 4 年度 教育行政評価報告書

点検項目	生涯スポーツ振興費
4 年度達成目標	スポーツ教室やスポーツ大会、燕さくらマラソン大会やニューススポーツ大会などを開催し、市民の健康増進や競技力の向上を図る。
目標の達成状況	・スポーツ教室…33 教室で申込み者は 771 名（前年度：534 名） ・スポーツ大会…60 大会で参加者は 7,576 名（前年度：3,674 名） ・燕さくらマラソン大会…目標 1,800 名に対し申込者 1,643 名 （前年度 1,677 名） ・ニューススポーツ大会…5 大会で参加者数は 404 名 （前年度 336 名）
取組の概要	○スポーツ教室 ・ニーズを捉えて様々な教室を開催し、市民の健康づくりを目指す。 ・教室開催後は、総合型スポーツクラブへの入会を勧め、年間を通して健康づくりに勤しんでもらえるような環境づくりを整える。 ○スポーツ大会 ・スポーツ協会加盟団体が主管で様々な大会を開催し、活動人口の増を図る。 ○燕さくらマラソン大会 ・2km、3km、10km、ハーフマラソン、2km 親子ペア、5km ウォーキングなど、老若男女、幅広い方が参加しやすい種目を設定。 ・地元自治会やまちづくり協議会からエイドステーション（給水所）の運営をしていただきランナーへのおもてなしを実施。 ・メディカルランナー（競技中の救護活動に協力できるランナー）の配置や地元の高校生から AED 自転車隊としてコース内巡回による安全確保の実施。 ・次回大会に向け、ハーフマラソンのコース認定（日本陸上競技連盟公認）の取得。 ○ニューススポーツ大会 ・幅広い年代が参加しやすいニューススポーツ（ソフトバレーボール、スポレック、グラウンドゴルフ、ターゲットバードゴルフ）の大会を開催し、市民の健康づくりを目指す。

自己評価	○スポーツ教室、スポーツ大会 ・新型コロナが落ち着きつつある中、感染対策を徹底することで前年度より多くの市民から参加していただくことができた。 ・より多くの市民から参加してもらえよう、参加者の意見を聞きながら、またスポーツ協会と連携しながら内容を工夫し、さらなる参加者の増を図っていく。 ○燕さくらマラソン大会 ・感染対策を徹底することで全国各地からランナーを招いて開催することができ、多くのランナーから「ありがとう」という声をかけていただいた。 ・ランナーやスタッフからいただいた貴重な意見を踏まえて、次回大会に向け、よりよい大会になるよう準備を進めていく。 ○ニュースポーツ大会 ・スポーツ教室やスポーツ大会に比べて、参加者数の前年度からの伸び率は低いものの、2割増しとなった。大会及び参加者の固定化が見られるため、新たに参加しやすい内容、大会参加の周知など、工夫を図っていききたい。
評価委員の評価	・ コロナ禍の中、スポーツ教室、大会が充実した内容で行われていたことが分かった。 ・ 燕さくらマラソン大会の全国的な認知度も上がっていると聞いている。ぜひこれからも参加人数を増やし、盛大な大会となることを期待している。 ・ 燕さくらマラソン大会を観光と一層結び付けていただきたい。
今後の方向性	・ コロナ禍が落ち着きを見せ、スポーツ教室や大会等の参加者が増えることが想定される。参加者から満足いただけるよう、スポーツ協会と連携し、充実を図っていく。 ・ 燕さくらマラソン大会は、ランナーやスタッフからの意見を取り入れ、毎年改善を加えながら充実を図っていく。併せて、おもてなしの精神を大切にし、参加者に満足いただけるよう努める。 ・ ニュースポーツ大会は、大会内容や周知方法等を工夫し、新たな参加者が増えるよう努める。

【所管：社会教育課】

令和 4 年度 教育行政評価報告書

点検項目	吉田トレーニングセンター（ビジョンよしだ）大規模改修事業
4 年度達成目標	吉田トレーニングセンター（平成6年竣工、延床面積：4,761 m ² ）は、年間利用者数が 15 万人を超える市を代表する複合型スポーツ施設であるが、竣工後 26 年が経過し、外装や機械設備、プール、浴室などの老朽化が進行していることから、今後も利用者が安全に安心して利用できるよう大規模改修を行う。
目標の達成状況	令和 3 年度から改修工事に着手し、令和 4 年 11 月下旬のリニューアルオープンを予定していたが、コロナ禍により機械設備の部品調達等に影響が生じたため、3 カ月遅れの令和 5 年 2 月 26 日にリニューアルオープンを迎えた。
取組の概要	別紙のとおり
自己評価	- 改修工事については、事故なく無事に竣工した。 - リニューアルオープンの延期となったが、早期の周知により利用者等の混乱を避けることができた。 - リニューアルオープンの遅れにより迷惑をかけたことから、約 1 か月間の無料体験期間を設け、併せて新規利用者の開拓に努めた。
評価委員の評価	- 引き続き利用者の増加を目指してほしい。 - 空前のトレーニングブームということもあるので、分かりやすい PR をしていってほしい。 - 高齢者が運動をすることで健康になり医療費を削減できると思うのでこれからも期待しています。

今後の方向性	・ リニューアルの目玉となる「トレーニングルームの拡充」と「バーチャルシステムの導入」をよりPRし、若者層の取り込みを強化していく。 ・ リニューアル前の利用者から引き続き利用いただくとともに、新たな利用者も増えるよう、サービスの充実に努めていく。
--------	---

【所管：社会教育課】

吉田トレーニングセンター（ビジョンよしだ）は、外装、機械設備、プール、浴室などの老朽化が進行していたことから、今後も利用者が安全に安心して利用できるよう大規模改修工事を行いました。

今回の改修では、トレーニングルームを拡充し、最新鋭のトレーニングマシンを導入したほか、スタジオを増設し新たなスタジオプログラムの充実を図るなど、新規の利用者の獲得を目指した改修内容となっています。

1. 施設の概要

- ①施設名称：吉田トレーニングセンター（ビジョンよしだ）
- ②所在地：燕市吉田本所153 番地1
- ③竣工年：平成6 年
- ④延床面積・構造：4,761 m²・鉄筋コンクリート造2 階建

2. 主な工事の概要

①吉田トレーニングセンター大規模改修工事（建築）

受注者：福田・丸山吉田トレーニングセンター建築特定共同企業体

契約額：693,779,900円（変更後）

工事概要：防水改修、外壁改修、建具改修、内装改修ほか

②吉田トレーニングセンター大規模改修工事（電気設備）

受注者：新田・橋本吉田トレーニングセンター電気設備特定共同企業体

契約額：145,169,200円（変更後）

工事概要：電灯設備、動力設備、受変電設備、監視カメラ設備ほか

③吉田トレーニングセンター大規模改修工事（機械設備）

受注者：蒲原・霜鳥吉田トレーニングセンター機械設備特定共同企業体

契約額：566,079,800円（変更後）

工事概要：換気設備、衛生器具設備、給水設備、排水設備ほか

【その他】

①冷温水発生装置（R3年度）

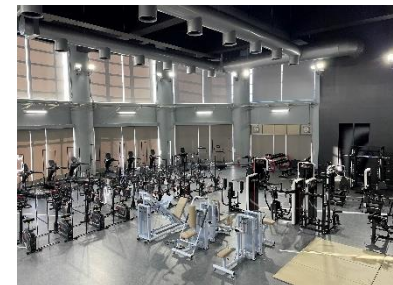
受注者：(株)捧設備

契約額：26,950,000円

②トレーニングマシン

受注者：サカイ

契約額：50,820,000円



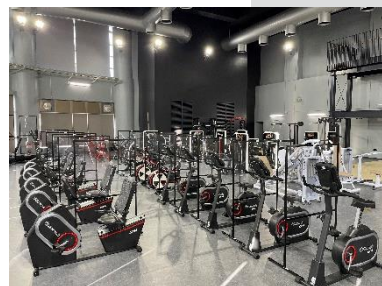
3. 平面図（1階）



採暖室



バリアフリースイ



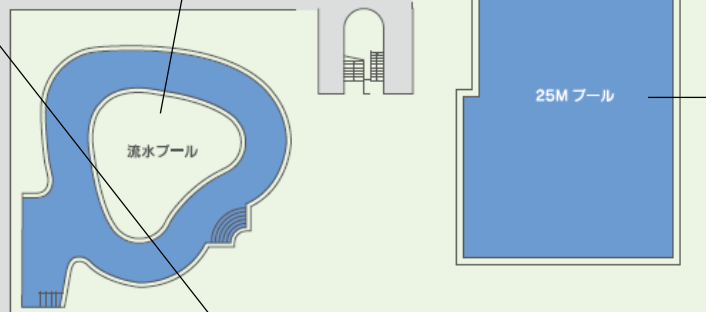
トレーニングルーム



トレーニングルーム



流水プール



流水プール

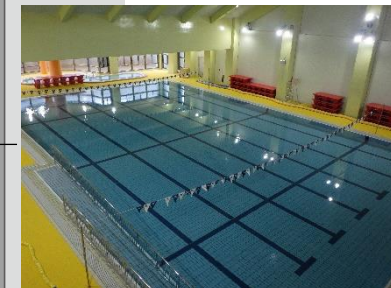
幼児用プール

幼児用プール

25Mプール



幼児用プール



25Mプール



ロッカー
男子 208口
女子 232口

ロッカー室



ラウンジ

1F

3. 平面図（2階）



ラウンジ



スタジオ B



2階から見たトレーニングルーム



浴室



浴室

シャワー蛇口
男子 9個
女子 9個



サウナ



ロッカー
男子 50口
女子 72口

更衣室



ロッカー
男子 84口
女子 84口

ロッカー室



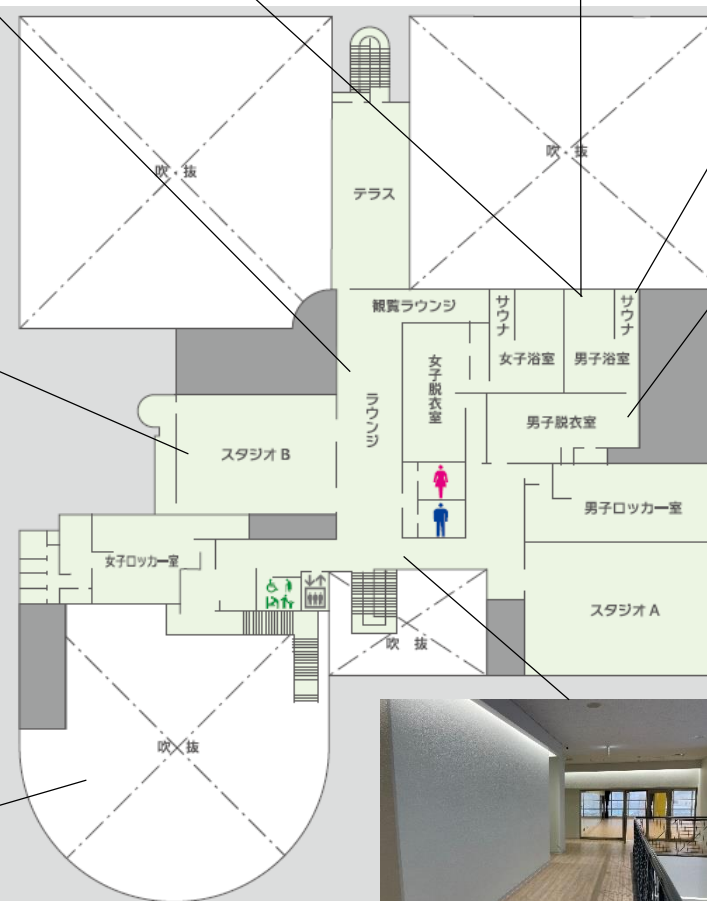
ラウンジ



1日4コマ程度

スタジオ A

2F



4. 主な改修内容

① トレーニングルームの拡充

トレーニングルームを拡充（168㎡⇒383㎡）しました。

若年層や新規利用者の獲得を図るため、フリーウエイトコーナーの新設及び最新鋭機器を導入しました。

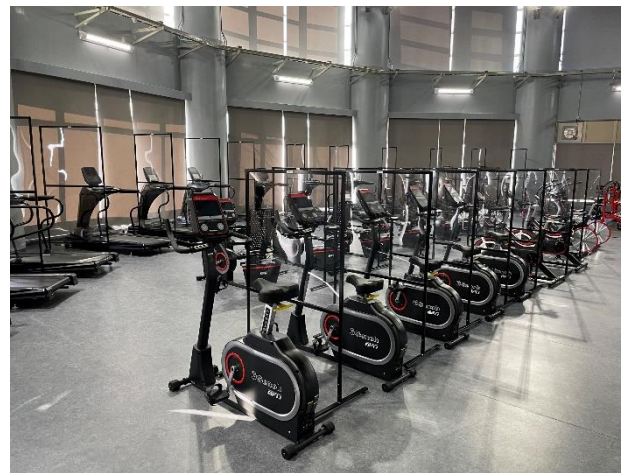
改修前



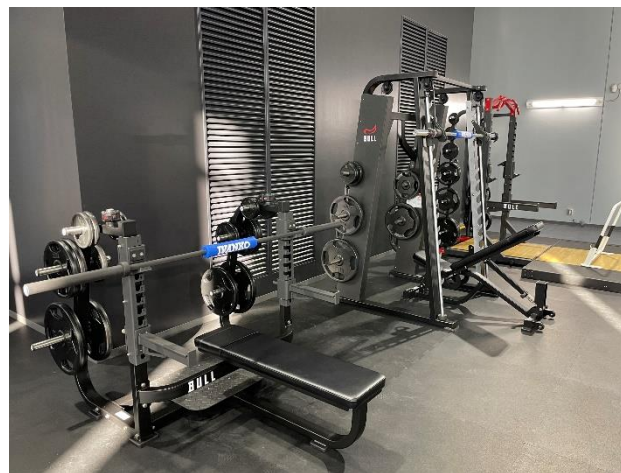
ランニング
マシン等を
増設



改修後



フリーウエ
イト新設



②ロッカールームの整備

2階にシャワー室付のロッカールームを整備しました。



ロッカー室にシャワーを完備し、
トレーニングルームやスタジオの利用者が
シャワーを浴びて帰ることができます。

③スタジオの増設

若年層や新規利用者の獲得を図るため、スタジオを増設（1室⇒2室）しました。

●改修後の活用方法

- ・ パーチャルシステムの活用
- ・ スタジオプログラムの充実 や教室回数の増加
（フィットネスや高負荷のエクササイズ教室の強化）

◆新規プログラム内容（予定）

- ・ エアロビクス
- ・ ボクササイズ
- ・ バランスボール
- ・ ストレッチボール
- ・ ピラティス（体幹やインナーマッスルを鍛えるトレーニング） など

若年層や女性の利用者獲得

5. 改修後の運用について

これまでの「固定料金制」から「**機能別料金制**」へ移行し、利用する施設に合わせた利用料金となりました。

これまで	リニューアルオープン後
固定料金制 ⇒ 全館利用しても、プールのみ利用しても同一料金 例) 高校生以上65歳未満 ・全館利用 ・プール+浴室利用 ・浴室のみ利用	機能別料金制 ⇒ 利用する施設に応じて利用料金が 変動 例) 高校生以上65歳未満 ・全館利用 700円 ・プール+浴室利用 500円 ・浴室のみ利用 400円

※ 利用施設ごとに利用料金が異なることから、プールやトレーニングルームなどの各施設には「**入退場管理ゲート**」を通過して入退場します。



※ 券売機または窓口で購入する「QRコード付きチケット」をかざすとゲートが開き入室することができます。(電車や新幹線の改札口をイメージ)

【ゲート設置場所】

- | | | |
|-----------------|-----|--------------|
| ①ラウンジ(下足コーナー近く) | ・・・ | 浴室利用者(全利用者) |
| ②プールロッカー室前 | ・・・ | プール利用者 |
| ③トレーニングルーム階段前 | ・・・ | トレーニングルーム利用者 |

【入退場管理ゲートの導入メリット】

■利用状況の把握

利用者の区別、時間帯別など、利用状況を容易に把握することができます。

■非接触やデジタル化に対応

ハウスカードに現金をチャージすることができ、現金を持たずに施設を利用することができます。(チャージをしていれば券売機でチケット(1回券)を購入する必要なし)

※ ハウスカードは誰でも作成することができます。

【初回発行：無料、再発行(データ引継ぎ可)：500円】 28



「チケット」イメージ

⇒ 首掛けカードホルダーに入れて使用



「パスポート」イメージ

⇒ ハウスカード(プラスチック)を交付

5. 改修後の運用について

利用者増を図るため、営業時間を延長しました。

曜日	これまで	リニューアルオープン後
月曜日から金曜日 (火曜日：定休日)	午後1時から午後9時	午後1時から <u>午後10時</u>
土曜日	午後1時から午後9時 (第2・4土曜日はプールのみ午前10時開館)	<u>午前10時</u> から <u>午後6時</u>
日曜日・祝日	午前10時から午後6時	変更なし(同左)

(資料) 料金表

区分			1回券	3カ月 パスポート	半年 パスポート	通年 パスポート	
機能別	プール ＋ 浴室	3歳未満	無料	無料	無料	無料	
		3歳以上小学生未満	150	2,700	4,500	7,500	
		小・中学生	300	5,400	9,000	15,000	
		高校生以上65歳未満	500	9,000	15,000	25,000	
		65歳以上	400	7,200	12,000	20,000	
	トレーニング ルーム ＋ 浴室	高校生以上65歳未満	500	9,000	15,000	25,000	
		65歳以上	400	7,200	12,000	20,000	
	浴室	3歳未満	無料	無料	無料	無料	
		3歳以上小学生未満	100	1,800	3,000	5,000	
		小・中学生	250	4,500	7,500	12,500	
		高校生以上65歳未満	400	7,200	12,000	20,000	
		65歳以上	350	6,300	10,500	17,500	
	全館		高校生以上65歳未満	700	12,600	21,000	35,000
			65歳以上	500	9,000	15,000	25,000
法人券(全館)		35,000(1人1年間有効)					

第2次燕市学校教育基本計画の評価

～令和4年度の指標について～

目標1：「ふるさと燕」への愛着や誇りとグローバル社会を生き抜く力を育みます。

■目標の達成状況

R3と比較しupは○、downは▼

指標項目	出所	対象	基準値	R3	R4	R4 全国平均	中間目標値	目標値
			H27				R1	R4
「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	80.4%	71.5%	▼63.5%		<83%>	<85%>
		中学3年生	33.7%	43.1%	▼37%		<35%>	<40%>
「将来の夢や目標を持っている」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	86.2%	77.1%	▼75.3%		<90%>	<90%>
		中学3年生	71.5%	71.6%	▼66.3%		<75%>	<80%>
全国学力・学習状況調査で全国平均以上の教科数 ※R1より、国語、算数、数学の全4教科（H30までは全8教科）	全国学力・学習状況調査	小学6年生	(4教科)	2教科 (国・算)	▼1教科		<2教科>	<2教科>
		中学3年生	(2教科)	0教科	○1教科		<2教科>	<2教科>
標準学力検査偏差値平均50以上の中学1年生から3年生の教科の数(国語・数学・英語) ※中1：2教科（英語除く） 中2：3教科、中3：3教科	全国標準学力調査（NRT）	中学1年生	2教科	1教科	○2教科		<2教科>	<2教科>
		中学2年生	3教科	1教科	1教科		<3教科>	<3教科>
		中学3年生	1教科	0教科	0教科		<3教科>	<3教科>
「朝食を毎日食べている」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	97.7%	96.8%	▼95.7%		<100%>	<100%>
		中学3年生	93.0%	95.6%	▼94.9%		<100%>	<100%>

目標2：「生きる力」を育み、個を伸ばす教育を実現する学校づくりを行います。

■目標の達成状況

指標項目	出所	対象	基準値	R 3	R4	R 3 全国平均	中間目標値	目標値
			H27				R1	R4
「教職員研修講座に参加してよかった」と回答した教職員の割合	研修講座アンケート	教職員	72.3% ※H26	98.1%	▼95.8%		<75%>	<80%>
「学校に行くのは楽しいと思う」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	89.0%	88.8%	▼85.8%		<90%>	<92%>
		中学3年生	84.4%	85.9%	▼83.6%		<85%>	<87%>
「自分には、よいところがあると思う」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	75.4%	82.8%	▼81%		<78%>	<80%>
		中学3年生	70.0%	83.9%	▼79%		<73%>	<75%>
「特別支援教育について理解し、授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行った」と回答した学校の割合	全国学力・学習状況調査(学校)	小学校	100.0%	100.0%	100.0%		<100%>	<100%>
		中学校	80.0%	100.0%	100.0%		<100%>	<100%>

目標3：学校・家庭・地域の連携を強化し、子どもが地域社会で健やかに育つ環境づくりに努めます。

■目標の達成状況

指標項目	出所	対象	基準値	R3	R4	R2 全国平均	中間目標値	目標値
			H27				R1	R1
近隣の小中学校との連携についてそれぞれ「行った」と回答した学校の割合 ※H29から3項目に変更 ①教育目標 ②授業研究 ③教育課程 ※R4は2項目に変更 ①授業研究 ②教育課程	全国学力・学習状況調査（学校）	小学校	66.7%	①66.7% ②60.0% ③66.6% 平均64.4%	①46.7% ②60.0% ▼平均 53.4%		<80%>	<80%>
		中学校	60.0%	①60.0% ②20.0% ③80.0% 平均53.3%	①100% ②60.0% ○平均 80.0%		<80%>	<80%>
学校支援ボランティア活動支援のべ回数	地域に根ざす学校 応援団事業 報告書	ボランティア	4,237回	2831回	▼2692回		<4,300回>	<4,400回>

目標4：安全・安心な環境で学べるよう、教育環境の整備、充実を図ります。

■目標の達成状況

指標項目	出所	対象	基準値	R3	R4	R3 全国平均	中間目標値	目標値
			H27				R1	R5
「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」と回答した小学6年生と中学3年生の割合 ※R3はこの項目に変更。R1は「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」	全国学力・学習状況調査	小学6年生	94.5%	90.3%	同様の質問がないため評価不能		<96%>	<98%>
		中学3年生	95.3%	88.8%	同様の質問がないため評価不能		<96%>	<98%>
「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した小学6年生と中学3年生の割合 ※H28からこの項目に変更	全国学力・学習状況調査	小学6年生	95.5%	94.2%	同様の質問がないため評価不能		<96%>	<98%>
		中学3年生	94.8%	93.2%	同様の質問がないため評価不能		<96%>	<98%>
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	96.8%	97.8%	○98.3%		<100%>	<100%>
		中学3年生	95.6%	97.5%	▼97.2%		<100%>	<100%>
「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した小学6年生と中学3年生の割合	全国学力・学習状況調査	小学6年生	95.7%	97.5%	▼95.7%		<96%>	<98%>
		中学3年生	94.0%	96.5%	○97.2%		<96%>	<98%>

< 評価委員の評価 >

- ・小中の連携がうまくいくと学力に関わる指標が向上する。
- ・新型コロナウイルスによる影響が、自己肯定感や安心感につながる指標が低下している。こどもの心のケアをしていくことが必要。
- ・新型コロナウイルスによる影響で制限されたことが多くあるが、その代わりにITに関わる能力が向上した。

< 今後の方向性 >

○第3次学校教育基本計画

- ・第2次計画の評価を踏まえ、第3次計画では、変化の激しい時代を生き抜き、社会を担う人材を育てるために、学校・家庭・地域が一体となって将来の姿（人間像）を共有し、取り組んでいくことが重要と考え、「燕市の目指す人の姿」を示している（第2次では「目指す子どもの姿」）。

1. ふるさと燕を愛し、社会に貢献する人
2. 多様な他者と協働して新たな価値を生み出す人
3. 自らの個性や可能性を発揮し、挑戦し続ける人

- ・子どもたちの力を引き出すこと、一人ひとりがお互いを認め合い、尊重し合いながら自己実現を図ること、それぞれの幸せな人生、よりよい社会を築くことを目指す教育の姿を目指していく。

○評価委員の評価を踏まえて

- ・読解力育成プロジェクトの推進（子どもたちの自己学習力の向上、中学校区研究会を通じた小中の連携 教職員の指導力向上）

- ・子どもたちの夢や目標を育む取組の充実（キャリア教育の充実 自己肯定感・自己有用感を育む教育活動の工夫）
- ・学校・家庭・地域の連携・協働の推進（コミュニティスクールの導入・取組の充実）

Ⅲ. 教育委員会の事業一覧

1. 令和4年度に実施した主要事業一覧

学校教育課

No.	主要事業名	事業の概要
1	Jack & Betty プロジェクト	外国語指導助手（ALT）3人と日本人英語指導助手（JTE）6人を配置し、幼稚園・保育園・こども園から小中学校まで、一貫した外国語教育を行いました。 また、Jack & Betty教室に加え、英語スピーチコンテスト、夏休み英会話教室を引き続き実施し、英語力の向上に努めました。 一方で、感染症の影響により、親善大使海外派遣事業は中止としましたが、令和3年度と同様に代替として国内英語研修（福島県プリティッシュヒルズ）への親善大使派遣を行いました。 令和3年度は、感染症の影響によりALTの入国が数か月遅れ、報酬支払が不要となる期間がありましたが、令和4年度は年間を通して3名の雇用となったことや会計年度任用職員報酬単価改定による人件費増により、令和3年度比で1,956千円の増となりました。
2	特別支援学校就学援助事業	当市在住の盲・聾・特別支援学校の児童生徒の保護者に対して、経済的負担を軽減するため、就学に必要な経費について援助を行いました。 また、県立月ヶ岡特別支援学校に通学する児童生徒を対象に、保健・福祉施設障がい者地域生活支援センター（はばたき）から学校までの送迎を行いました。
3	奨学金貸付事業	教育の機会均等と人材育成を図るため、修学の意欲があり、経済的理由により就学が困難な学生または生徒に対して奨学金の貸与を行いました。 ・奨学金貸付金 139人 62,940千円 貸付者が令和3年度は146名、令和4年度は139名でした。そのため、令和3年度比で3,488千円の減となりました。
4	学校教育管理費	令和5年度から8年間を計画期間とする第3次燕市学校教育基本計画を策定しました。 また、教職員用パソコンの配置や校務支援システムの運用等により、教職員の多忙化解消を進め、教育の質の向上を図りました。 令和3年度に老朽化していたサーバ及びネットワーク機器の入れ替え等の作業が完了したため、令和3年度比で1,962千円の減となりました。
5	地域に根ざす学校応援団事業	学校・家庭・地域が一体となって、児童生徒の健やかな成長や地域全体の教育力向上を図るため、地域コーディネーターとの連携により、学校支援ボランティアによる「地域に作られた学校の応援団」として地域住民の参加を推進しました。 加えて、地域ボランティアの活用による「放課後等の学習支援活動」にも取り組み、児童生徒の学力向上を図りました。 感染症禍ではありましたが、学校教育活動へのボランティア参加も増えてきたため、令和3年度比で725千円の増となりました。 【補助学校数及び補助額】 20校 4,190千円
6	ICT教育推進事業	これまで燕市で整備を進めてきた普通教室の電子黒板や1人1台の情報端末の整備、ICT支援員の配置を引き続き行いました。 令和4年度はICT支援員の増員（2人→4人）等ICT環境の整備に努めました。 人件費増や修繕料の増加はありましたが、小中学校教育用コンピュータのリースが令和3年度中に終了したため、令和3年度比で3,401千円の減となりました。
7	燕ジュニア検定事業	児童を対象に、地域の歴史や文化等を楽しく勉強してもらい、ふるさとへの誇りと愛着をもってもらうため、「燕ジュニア検定問題集（平成30年度改訂）」を活用し、各小中学校で、燕長善タイム等の時間を利用した学習を行いました。 また、令和3年度に引き続き、学校で1人1台配付されているタブレットを用いて検定を行い、市内小学生2,007人が受検しました。 令和4年度は、「燕ジュニア検定問題集改訂二版」を印刷したため、令和3年度比で959千円の増となりました。

学校教育課

No.	主要事業名	事業の概要
8	子ども夢づくり事業	子ども夢基金を活用し、小・中学生が全国スポーツ大会に出場する際の遠征費補助を行いました。 令和4年度は、全国大会への出場が減少したことにより、令和3年度比で、人数は10人、補助額で315千円の減となりました。 【補助件数及び補助額】 ・小学生 21件 440千円 ・中学生 29件 1,006千円
9	長善館学習塾事業	令和4年度は市内の小学5・6年生を対象に、3年ぶりに感染症感染対策を行いながら南魚沼での宿泊体験や市内事業所での職場体験を実施し、たくましく生きる力やチームワーク、郷土愛を育みました。また、毎年行っている燕市をPRするビデオ制作も行いました。 令和4年度は、3年ぶりに南魚沼市宿泊体験を実施したため、企画立案・指導業務委託が発生し令和3年度比で275千円の増となりました。
10	広島平和記念式典派遣事業	非核平和宣言推進事業の一環として、国際的な視野をもって命の尊厳や平和の尊さについて理解できる生徒を育成するため、市内の中学生を広島平和記念式典に派遣しました。 事前学習、現地での学びで感じたことや考えたことを報告会で発表するとともに、在籍校においても発表の機会を設けました。また、各校で作成した千羽鶴を記念公園に奉納しました。令和4年度は、3年ぶりに平和記念式典への派遣を実施したため、令和3年度比で537千円の増となりました。
11	笑顔で入学支援事業	市内の小学校15校において入学予定児童の保護者を対象に、入学に対する不安解消や心構えなど、入学を円滑にする支援としてリーフレットの配布や講演会を実施しました。
12	燕キャプテンミーティング	市内中学校のリーダーを育成し、資質の向上を図るため、12月17日、1月21日の2日間で、講演会やワークショップを行いました。延べ131人の中学生が参加しました。
13	学校図書館充実事業	計画的に図書を購入し、児童生徒の読書活動の推進や学習環境を整備しています。また、学校図書館管理システムを活用して蔵書管理・蔵書充実・読書活動推進を行うとともに、学校図書館司書を配置し各学校図書館の運営をサポートしました。
14	羽ばたけつばくろ応援事業	若者の主体的な活動を応援し、燕市の将来を担う人材を育成することを目的に、夢の実現や社会参画に対する支援を行いました。 【補助件数及び補助額】 団体：3件 707千円
15	つばめキッズファーム事業	市内の小学校15校を対象に、児童が農業の収穫の喜びを体験することで、児童を取り巻く農業や食の環境を学ぶとともに、自分の住んでいる地域を知るための機会を設け、補助金を交付しました。 【補助学校数及び補助額】 15校 1,421千円
16	Good Job つばめ推進事業	生徒がふるさとへの愛着や誇りを持ち、自分の将来を設計し、自立して生きていく力を育むため、3日間の職場体験と、各1日のキャリア講演会及びマナー講習会の実施を行いました。令和3年度同様に感染症感染拡大を受け、職場体験は各事業所へ訪問は行わず、オンラインでの実施としました。
17	高校とともに創る輝く人材育成事業	平成29年3月29日に県へ提出した「燕市内の県立高校の特色化に関する提案書」に基づき、吉田高校と分水高校の特色ある学校づくりを支援することにより、燕市の将来を担う人材の育成に努めました。
18	入学準備金貸付事業	高校や専修学校、大学等への入学に際し、経済的理由により就学が困難な者の保護者等に対し、必要となる資金の一部を入学準備金として貸し付け、教育の機会均等を図りました。

学校教育課

No.	主要事業名	事業の概要
19	燕ロボット・プログラミング教室事業	小型自律動作ロボットを用いた「つばくろロボキッズ教室（前期9回、後期3回）」を実施し、前期コースは小学5・6年生11人、後期コースは小学3～5年生12人が参加しました。また、学校への教材の貸出を行うなど、小学生を対象としたプログラミング学習に取り組みました。 なお、燕市にて開催されたWRO Japan新潟大会予選に2チームが出場しました。 令和4年度は学生サポーターに教室運営の協力を依頼したため、謝金等の増により令和3年度比で279千円の増となりました。
20	つばくろいきいきスポーツクラブ事業	生徒の知・徳・体のバランスの取れた成長を促すため、中学校の部活動の適切な活動時間などを示しました。一方で部活動以外にも体力や技術の向上を目指したい等の生徒・保護者や指導者のニーズに対応するため、運動部活動を補完するクラブを令和元年度から設置し、引き続き活動しました。
21	実習生応援PCR検査費用助成事業	燕市在住または燕市出身で、教育免許や保育士資格等の取得のため、市内または近郊の教育・保育施設や医療施設、社会福祉施設などで実習を行う学生を対象に、PCR検査にかかる費用の一部を助成しました。 ・1人1回、上限15千円 【補助件数及び補助額】 11人 121千円
22	情報社会の必須スキル「読解力」育成プロジェクト	生涯にわたって学び続けるための土台となる「読解力」を育成する視点で、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す授業改善に取り組みしました。
23	ICT教育推進事業[明許繰越]	国のGIGAスクール構想に基づき、教職員用タブレット140台を購入しました。
24	教育指導費	児童生徒の基礎学力の定着度を把握し、指導方法の改善を図るための学力検査（NRT）や、いじめ・不登校等の予防早期発見に有効な客観的データが得られる学校生活の満足度検査（Q-U）を実施しました。
25	学習支援充実事業	小・中学校に学習支援員15人を配置し、各学校においてきめ細かな学習指導、特別活動及び生活指導等を行うことにより児童生徒の健全育成を推進しました。
26	小中学校教職員研修事業	教職員としての資質（授業力、生徒指導力、学級経営力等）の向上を図るため、教職員を対象に各種研修を実施しました。
27	新潟大学教育学部とのパートナーシップ事業	教育学部の教授（准教授）による、最新の学術理論にもとづいた授業実践を市内の小中学校で展開するとともに、市内各校へ研修内容を広め、教職員の指導力向上を図りました。
28	学校不適應・ひきこもり相談事業	悩みを抱えた小学生から39歳までの子どもや若者、その保護者からの不登校をはじめとした様々な相談に、電話、面談、訪問、メールで対応し、解決に向けた支援を行いました。
29	スクールソーシャルワーカー派遣事業	児童生徒が抱えている様々な問題に対し、スクールソーシャルワーカーを派遣し、家庭や関係機関、教職員等に対し支援を行い、問題の解決を図りました。9月よりスクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラーを増員し、相談体制の充実に努めたため、令和3年度比で1,198千円の増となりました。
30	適応指導教室事業	学校に行くことができない児童生徒のため、市内3カ所に適応指導教室を設置し、個人の状況に合わせた学習や自主活動を行い、学校生活への復帰を支援しました。
31	別室登校支援事業	学校に登校できても教室に入れない生徒を対象に、各中学校に学習支援を目的とする別室登校支援員を配置し、生徒の学習やクラスへの復帰を支援しました。
32	心の教室相談員派遣事業	各中学校に心の教室相談員を派遣し、悩みのある生徒に対する心のケアを行いました。

学校教育課

No.	主要事業名	事業の概要
33	言語・発達障がい通級指導教室運営費	発達の特性に応じて児童生徒が積極的に学校生活を営むことができるよう、言語通級教室（燕西小・吉田小・分水小）・発達障がい通級教室（吉田南小）で専門的な指導を行いました。 令和5年度から吉田中に言語通級教室を開設するための備品等の購入を行ったため、令和3年度比で1,268千円の増となりました。
34	教育センター運営費	教育関係職員等の研修などを実施する教育センター施設の管理運営を行いました。
35	子どもを育む推進事業	中学校区単位で絆スクール集会を実施し、いじめ見逃しゼロに対する意識の高揚を図りました。また、いじめ防止対策等専門委員会を開催し、「燕市いじめ防止基本方針」の一部改定について協議を行いました。 令和4年度は泥かぶらの公演会の開催年度ではなかったこと等により、令和3年度比で4,610千円の減となりました。
36	科学教育推進事業	燕・弥彦科学教育センターと連携し、理数教育を中心とした研修体制を充実・強化することで児童生徒、教師や市民の科学に対する意識向上を図りました。教職員に対する研修等を実施しました。
37	遠距離通学支援事業	遠距離通学児童に対してスクールバスの運行を行うとともに、スクールバスを運行していない地区については、助成金を交付することで、保護者負担の軽減と通学の支援を図りました。
38	松長小学校の統合準備事業	松長地区の児童数が減少し、令和5年度以降は2つの学年で1学級を編制する複式学級が見込まれる状況を踏まえ、松長小学校と小中川小学校の円滑な学校統合を図るため「学校統合準備会」を設置し、準備会を5回開催しました。 また、松長小学校区から小中川小学校へ学区外就学申請を行った児童のための通学バスの運行を開始したほか、松長小学校へ学習支援員を1名配置しました。
39	教育振興費	経済的な理由により就学困難な児童の保護者及び、小学校の特別支援学級に在籍している児童の保護者等に対し、小学校でかかる費用の一部を助成しました。 新たにオンライン学習通信費の支給があったこと、就学援助及び特別支援教育就学奨励費の審査結果の訂正に伴う追加支給等の理由により、令和3年度比で4,821千円の増となりました。
40	理科教育等設備整備事業	子どもたちに科学的な知識や技能を習得させるとともに、工夫創造の能力を養うため、国の補助金を活用し理科教育備品を購入しました。
41	小学校整備事業	大関小学校グラウンド南側防球ネット設置工事（2,145千円）や島上小学校特別支援教室冷暖房設備改修工事（1,298千円）など、各学校施設の整備・修繕を行いました。
42	小学校屋内運動場照明器具改修事業	HID灯の生産終了に伴い、燕東・燕南・大関・分水小学校の屋内運動場照明のLED化を行いました。
43	燕西小学校外装等改修事業	経年劣化が進んでいる校舎・屋内運動場の外壁や屋根、建具、電気設備、機械設備等について、改修工事の設計を行いました。
44	小学校特別教室等冷暖房設備整備事業	冷房設備が設置されていない特別教室（理科・家庭科・図工室等）に冷暖房設備を導入する設計を行いました。また、経年劣化が進んでいる分水小学校の冷暖房設備入替の設計を行いました。
45	吉田南小学校照明器具等改修事業	建物内の照明LED化に加え、太陽光発電設備、蓄電池設備、エネルギーマネジメントシステム等を導入しました。
46	プール解体駐車場整備事業	老朽化により使用を停止した燕東・栗生津・吉田北小学校プール解体及び跡地の駐車場等整備の設計を行いました。
47	大関小学校屋内運動場外装等改修事業	経年劣化が進んでいる屋内運動場の外壁や屋根、建具等について、改修工事を行いました。
48	小学校整備事業[明許繰越]	年度途中で故障した燕東小学校の図書・教務・校長室の冷暖房設備改修工事を行いました。
49	燕北小学校駐車場整備事業[明許繰越]	旧燕北幼稚園を解体し、隣接する燕北小学校の駐車場として整備を行いました。

学校教育課

No.	主要事業名	事業の概要
50	小学校トイレ施設等改修事業[明許繰越]	老朽化が進んでいる燕東・燕南・大関小学校のトイレについて、乾式化・洋式化改修工事を行いました。
51	大関小学校屋内運動場外装等改修事業[明許繰越]	経年劣化が進んでいる屋内運動場の外壁や屋根、建具等について、改修工事を行いました。
52	分水小学校屋内運動場外装等改修事業[明許繰越]	経年劣化が進んでいる屋内運動場の外壁や屋根、建具等について、改修工事を行いました。
53	分水北小学校屋内運動場外装等改修事業[明許繰越]	経年劣化が進んでいる屋内運動場の外壁や屋根、建具等について、改修工事を行いました。
54	遠距離通学支援事業	遠距離通学生徒に対してスクールバスの運行を行うとともに、スクールバスを運行していない地区については、助成金を交付することで、通学の支援と保護者負担の軽減を図りました。
55	教育振興費	経済的な理由により就学困難な生徒の保護者及び、中学校の特別支援学級に在籍している生徒の保護者等に対し、中学校でかかる費用の一部を助成しました。 新たにオンライン学習通信費の支給があったこと、就学援助及び特別支援教育就学奨励費の審査結果の訂正に伴う追加支給等の理由により、令和3年度比で6,203千円の増となりました。
56	理科教育等設備整備事業	子どもたちに科学的な知識や技能を習得させるとともに、工夫創造の能力を養うため、国の補助金を活用し理科教育備品を購入しました。
57	部活動外部人材活用事業	市内中学校の部活動に対して、専門的な技術指導力を有する指導者を外部人材活用事業として11人を派遣することにより、部活動の振興と地域社会との連携を促進しました。
58	部活動の在り方検討事業	令和5年度以降の休日の部活動における段階的な地域移行が示されたことを踏まえて、燕市の部活動全般について検討していくことを目的とした部活動の在り方検討委員会を開催しました。
59	中学校整備事業	吉田中学校FF暖房機入替工事（5,170千円）や吉田中学校バックネット新設工事（3,190千円）など、各学校施設の整備・修繕を行いました。
60	中学校整備事業[明許繰越]	経年劣化が進んでいる分水中学校屋内運動場西面の外壁について、改修工事を行いました。
61	中学校トイレ施設等改修事業[明許繰越]	老朽化が進んでいる燕中学校のトイレについて、乾式化・洋式化改修工事を行いました。
62	学校衛生管理費	児童生徒及び教職員の健康保持のために、各種健康診断や学校環境衛生検査を実施するなど、保健衛生面から教育環境の整備、充実を図りました。 学校環境衛生検査で使用する測定機器の購入等により、令和3年度比で905千円の増となりました。
64	学校等における感染症対策等支援事業	市内小中学校において、感染症対策を徹底しながら教育活動を継続するための各種物品（保健衛生用品の追加購入、校舎消毒に必要な物品、三密を避けて換気を徹底するために不足する物品等）を購入、また定期的な教室等の消毒作業を業務委託しました。
65	給食センター管理運営費	市内小中学校の児童生徒に対して、東部学校給食センター（燕地区）及び西部学校給食センター（吉田地区・分水地区）で調理した学校給食を提供しました。また、食材費高騰分として児童生徒1人1食あたり10円を補助したほか、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための臨時休業で給食を中止した際に、食材費相当額を補填するなどし、保護者負担の軽減を図りました。 ・年間食数（小学校766,330食、中学校411,009食） ・給食1食あたりの保護者負担額（小学校275円、中学校320円） ・平均給食回数（小学校約192回、中学校約188回）

No.	主要事業名	事業の概要
66	児童クラブ運営事業	就労等により、昼間保護者が家にいない小学生に遊びと生活の場を提供し、児童の健全育成と保護者支援を行いました（公立児童クラブ：17カ所、登録児童数899人（令和5年3月31日現在））。
67	子どもの居場所運営事業	B & G財団の助成金を活用し、児童クラブの機能をもつ新たな子どもの居場所を開設し、児童の健全育成と保護者支援を行いました（登録児童数16人（令和5年3月31日現在））。
68	なかまの会の児童クラブ化推進事業	北のなかまの会（燕北小学校区）での児童クラブ新設に向け、既存学校施設の改修を行いました。
69	なかまの会の児童クラブ化推進事業[明許線越]	燕北小学校内にあるなかまの会を児童クラブ化するための改修工事や備品整備等を行いました。
70	西小児童クラブ改修事業[明許線越]	冷暖房設備が設置されていない西小児童クラブの2階に冷暖房設備を導入しました。
71	なかまの会管理運営費	児童クラブが設置されていない小学校区において、放課後の子どもの居場所づくりを目的として、4カ所のなかまの会の運営を行いました（登録児童数230人：延べ18,726人）。
72	放課後児童クラブ等環境整備事業	児童クラブおよびなかまの会において、利用児童がクロームブックを使用することができるようWi-Fi環境の整備を行いました。

子育て応援課/子育て支援課

No.	主要事業名	事業の概要
73	子ども家庭相談支援事業	児童扶養手当申請者者及び就学援助認定者に対し、心配ごと等に関するアンケートを実施するとともに、弁護士による「悩みごと相談会」を開催しました。 なお、就学援助認定者へのアンケートを学校から配布する方法に変更したことにより郵送料が減少し、令和3年度比98千円の減となりました。
74	障がい児通所支援費支給事業	障がい児が地域で健やかに成長できるよう専門サービスの支給を行いました。 なお、新規事業所「ロンディーネの杜」開設、児童発達支援及び保育所等訪問支援の利用者の増加により、事業全体で令和3年度比20,281千円の増となりました。 【主な給付件数及び決算額】 ・放課後等デイサービス給付費（1,970件、129,371千円） ・児童発達支援給付費（796件、74,020千円） ・障がい児相談支援給付費（461件、8,466千円） ・保育所等訪問支援給付費（93件、1,429千円）
75	子育て世帯生活支援特別給付金支給事業	感染症による影響を受ける低所得の子育て世帯への国の支援策として、子育て世帯生活支援特別給付金（対象児童1人当たり50千円）の給付を行いました。（ひとり親世帯分：受給者493人、36,100千円 その他世帯分：受給者238人、19,850千円）
76	子育て応援臨時給付金支給事業	長引く物価高騰等の影響を受け、特に負担の大きい子育て世帯を支援するため、18歳以下の高校生相当までのすべての子どもに給付金（対象児童1人当たり10千円）を支給しました。 （受給者6,521人、108,570千円）
77	出産・子育て応援事業	すべての妊婦と子育て家庭が安心して出産・子育てできるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫した「伴走型相談支援」と「経済的支援」を一体的に実施しました。経済的支援は、妊娠届出後に出産応援給付金として妊婦1人当たり50千円、出生届出後に子育て応援給付金として子ども1人当たり50千円を支給しました。 出産応援給付金：受給者692人、34,600,000円 子育て応援給付金：受給者365人、18,400,000円
78	子育て世帯への臨時特別給付金支給事業[明許繰越]	新型コロナウイルス感染症の長期化により、経済的な影響を受けている子育て世帯への国の支援策として、18歳以下の子どもがいる世帯に対し、臨時特別給付金（対象児童1人当たり100千円）を支給しました。（受給者90人、10,600千円）
79	要保護児童対策事業	要保護児童対策地域協議会事務局に家庭児童相談員を4人配置し、相談体制の充実、研修会参加、関係機関との連携により、要保護児童の適切な保護及び支援を行いました。（11,680千円） また、生後4か月までの乳児がいる家庭で、新生児訪問を希望しなかった家庭を訪問し、養育環境の把握や助言を行い児童虐待を未然に防止する「こんにちは赤ちゃん事業」を実施しました。（39千円） 家庭児童相談員1名の勤務体制の変更等により、令和3年度比で290千円の増となりました。
80	子どもの居場所づくり支援事業	子どもへ食事や学習の場を提供する団体に対し、燕市子どもの居場所づくり支援事業助成金として運営費の一部を助成し、安定した運営が継続できるよう支援しました。（4団体 400千円） また、新型コロナウイルス感染症の影響により経済的に困窮している家庭などで、生理用品の入手が困難な子どもに対して、窓口や子ども食堂等子どもの居場所を提供する団体を通じて生理用品を無償で提供し、各種相談機関などへの相談を促しました。 なお、子どもの居場所づくり支援事業助成金の増額及び助成団体数の1団体増加、生理用品購入費の皆増により、令和3年度比で614千円の増となっています。
81	児童扶養手当給付事業	父母の離婚などにより、父又は母の一方からしか養育を受けられない児童の健やかな成長を支援するため、該当児童を養育している方に対し児童扶養手当を支給しました。（受給者432人、221,021千円）。受給者の減少等により、令和3年度比で18,660千円の減となりました。
82	ひとり親家庭自立支援事業	児童福祉法の規定により、母子家庭の自立支援のため、母子生活支援施設・助産施設への入所措置を行いました（母子生活支援施設1件・助産施設2件3,343千円）。また、ひとり親家庭を対象に、就職のために必要な資格取得を容易にするための受講料の補助等については、令和3年度の申請は0件でした。 なお、母子生活支援施設・助産施設への入所措置が3件あったことから、令和3年度比で2,610千円の増となりました。

子育て応援課/子育て支援課

No.	主要事業名	事業の概要
83	児童手当給付事業	次代の社会を担う児童の健やかな育ちを社会全体で支援するため、中学校修了までの子どもを養育している保護者に対し児童手当を支給しました。（受給者4,735人、1,055,710千円） なお、受給者が4,946人から4,735人に減少したため、令和3年度比で38,480千円の減となりました。
84	母子健康診査事業	妊娠期から安心して出産・育児ができるよう、妊婦一般健康診査（14回分）・妊婦歯科健診委託及び県外や15回目以降の健診費用償還払いを実施しました。また、乳幼児健康診査・幼児歯科健診（集団・医療機関委託）を行いました。なお、妊婦一般健康診査受診者延べ人数が減少したことによる妊婦一般健康診査委託料の減等により、令和3年度比で5,368千円減となりました。
85	母子保健衛生事業	保護者の育児不安解消や児の健やかな発育・発達のために、両親学級、妊産婦・乳児訪問、養育支援訪問、オンラインを含めた育児相談会を実施しました。また、発達が心配なお子さんのために、療育教室・療育相談を行いました。なお、妊産婦・乳児訪問指導員謝金の減等により、令和3年度比で840千円の減になりました。
86	産後ケア事業	児童虐待防止につなげるため、産後うつ等のリスクを減らし、母子ともに健やかな生活が送れるように、産後ケア事業として委託医療機関で健康管理や育児指導等を実施しました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり利用者が0件でしたが、令和3年度は9件、令和4年度は4件の利用がありました。
87	不妊治療助成事業	令和4年4月より不妊治療費が保険診療とされたことに伴い、従来の特定不妊治療費（体外受精または顕微授精）助成事業、一般不妊治療費（タイミング療法や人工授精など）助成事業を一本化し、保険診療分の医療費を全額助成としました。それに加え、令和4年3月までの診療分については従来の事業による申請を行いました。このことにより、令和3年度比1,948千円の増となりました。
88	不育症治療助成事業	不育治療費（不育症の診断を受けて行う治療、検査）助成のチラシを作成し、不妊治療を行っている医療機関及び近隣の産婦人科に周知しました。令和2年度より事業を開始し、令和3年度は4件、令和4年度は2件の申請がありました。
89	療育支援事業	特別な配慮を要する子どもの支援体制整備のために特任指導主事を2人配置し、幼稚園・保育園・こども園等の巡回訪問、保育士等を対象とした研修、保護者講座を実施しました。 また、取組の拡充として、園内の支援体制強化に向け、発達支援コーディネーターの育成に取り組みました（48千円）。 令和4年度はコロナ禍にあっても実施方法の工夫により、前年度まで自粛対応をしていた巡回訪問や研修をおおむね計画通り実施することができたことや、保育士等からの要請も増え、巡回訪問や園内研修の実施が増加しました。実施にあたり、保育士等の勤務体制に合わせた時間設定とする必要から、時間外対応の増加により令和3年度比で205千円の増となりました。

No.	主要事業名	事業の概要
90	児童福祉総務費	令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とする第2期燕市子ども・子育て支援事業計画の進捗管理を行うための、燕市子ども・子育て会議を開催しました。また、子育て支援施設におけるデジタル化を推進するためのICT支援員等を令和4年度から配置したため、令和3年度比で2,210千円増となっています。
91	保育園運営費	次の時代を担う子どもたちが健やかに育つよう、市立保育園14カ所（令和5年3月31日現在、園児数1,163人）と市立認定こども園2カ所（令和5年3月31日現在、園児数215人）で保育を実施しました。なお、施設の老朽化等により調理機器の交換や修繕が必要となったため、令和3年度比で52,199千円増となりました。
92	保育園整備事業	三方崎保育園外倉庫解体及び設置工事や藤の曲保育園厨房換気扇フード修繕工事を行うなど、保育環境改善工事を実施しました。
93	私立認可保育所経費	市内の私立保育園3カ所（令和5年3月31日現在、園児数391人）の委託料及び、地域型保育所3カ所（令和5年3月31日現在、園児数45人）の施設型給付費を負担しました。また、子ども・子育て支援交付金や新潟県特別保育事業補助金、保育対策総合支援事業費補助金の等の活用により、私立保育園3カ所及び地域型保育所3カ所へ補助金を交付しました。
94	保育所広域入所委託事業	家庭の事情により、市内の保育園等への通園が困難な児童について、市外の保育園へ保育を委託しました。
95	私立認定こども園経費	市内の私立認定こども園4カ所（令和5年3月31日現在、園児数630人）の施設型給付費及び市外の私立認定こども園10カ所（令和5年3月31日現在、園児数11人）の施設型給付費を負担しました。また、子ども・子育て支援交付金や新潟県特別保育事業補助金、保育対策総合支援事業費補助金の等の活用により、私立こども園4カ所へ補助金を交付しました。
96	民営化事業者選定事業	小池保育園及び水道町保育園の民営化にあたり、運営主体となる法人を公平かつ適正に選定するための、保育園整備事業者選定委員会を開催し、運営事業者を選定しました。
97	旧地藏堂保育園園舎等解体事業[明許繰越]	令和2年度末で閉園した、地藏堂保育園園舎等の解体を行いました。なお、令和3年度に設計後、着工し、令和4年度に竣工しました。
98	小池保育園・水道町保育園用地拡張事業[明許繰越]	令和3年度中に取得した土地の造成工事等を行いました。
99	児童館運営事業	遊びを通して児童の健全育成を図り、情操を豊かにするための施設として、6カ所の児童館の運営を行いました。（令和4年度実績来館者数：25,233人）

こども未来課/子育て支援課

No.	主要事業名	事業の概要
100	児童研修館運営事業	子どもたちの豊かな感性を育む場として、また、親子のふれあい交流の場として、こどもの森の運営を行いました。 (令和4年度実績来館者数：7,180人)。
101	西燕児童館改修事業	西燕児童館は建築から約20年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。当該施設は、西燕児童クラブを併設しており、地域の児童館として、且つ児童クラブとして重要な役割を果たしていることから、施設の長寿命化を図るための改修を実施しました。
102	地域子育て支援事業	子育て家庭の育児相談や子育て情報の提供及び子育ての輪を広げるための事業を市内7カ所の子育て支援センターで実施しました。 また、「すこやか赤ちゃん誕生祝い金事業（平成24年申請受付終了）」で、中学校・高校入学者に子育て支援金を支給しました。高校に入学する支給対象者が増えたため、令和3年度比で45,984千円増となりました。
103	ファミリー・サポート・センター運営事業	安心して子育てや仕事を行うために育児サポートを行うファミリー・サポート・センター事業を実施しました。
104	病児・病後児保育事業	病気や病後で通園または通学ができず、家庭での療養も困難な子どもを、病児保育室「あおぞら」（たかだ小児科医院併設）で一時的に預かり、保護者の就労と子育ての両立を支援しました。（令和5年3月31日現在事前登録者数：2,188人、利用者数：376人）
105	地域子育て支援講座事業	赤ちゃんを初めて育てているママのための仲間づくり・親子の絆づくりのプログラムや、同年代の子どもを持つ母親同士が子育ての不安や悩みを話し合い、自分に合った子育てを考えることを目的とするプログラムを実施しました。
106	子育てのための施設等利用給付事業	幼児教育・保育の無償化に伴い、幼稚園・認定こども園の在園児が預かり保育事業を利用した場合などに、その利用料相当額を支給しました（30件） 認可外保育施設、預かり保育事業の利用者減により、令和3年度比で613千円減となりました。
107	育児家庭応援事業	子育て世帯の経済的負担を軽減するため、乳幼児のいる世帯を対象に、おむつ用ごみ袋を支給しました（令和4年度実績：0歳児 473人、1歳児 23人、2歳児 11人）。
108	子育てアプリ事業	予防接種などのお知らせ情報発信機能や子どもの成長記録、妊婦の健康管理機能などを備えたスマートフォン向けのアプリ「燕市子育てアプリはぐはぐ」を運用し、子育て世帯向けの情報を発信しました（令和5年3月31日現在登録者数2,256人）。
109	つばめ子育て応援カード事業	妊婦及び中学生以下の子供を養育する保護者に対し、“つばめ子育て応援カード”を発行し、事業者などの協力のもとに子育て家庭を応援するとともに、「社会全体で子育てを支えていこう」という気運の醸成を図りました（令和5年3月31日現在カード発行者数9,678人、協賛企業85社）。
110	全天候型子ども遊戯施設整備事業	全天候型子ども遊戯施設の整備に向け、事業用地の買収、公募型プロポーザル方式による、建物設計業務委託の実施及び、土地造成、調整池設置、排水路整備工事に着手しました。
111	全天候型子ども遊戯施設整備事業[明許繰越]	全天候型子ども遊戯施設の整備に向け、施設建設事業のために実施した事業認定、事業用地整備のための測量、土地造成設計及び調整池設計業務を実施しました。
112	幼稚園運営費	市立幼稚園1カ所（令和5年3月31日現在、園児数13人）で幼児教育を実施しました。 また、市外の私立幼稚園へ区域外就園した児童のための施設型給付費を負担しました。 また、対象児童の減少により令和3年度比で1,301千円の減となりました。

社会教育課

No.	主要事業名	事業の概要
113	勤労青少年ホーム（夢中館）管理運営費	勤労青少年ホーム（夢中館）の管理運営を行いました。
114	生涯学習推進費	第2次燕市生涯学習推進計画（平成28年度～令和4年度）の進捗管理及び、第3次燕市生涯学習推進計画の策定について協議するため、燕市生涯学習推進協議会（2回）を開催しました。 また、生涯学習人材バンクの登録・活用の促進を図るとともに、生涯学習情報の提供に努めました。 なお、令和3年度に第3次燕市生涯学習推進計画策定に向けた市民意識調査を行ったことから、376千円の減となっています。
115	社会教育総務費	社会教育行政にかかる社会教育委員の会議（2回）を開催しました。また、必要な研修会に参加しました。
116	20歳記念事業	新型コロナウイルス感染症の影響により延期していた令和3年度の成人式を令和4年11月20日に、令和4年度の二十歳のつどいを令和5年3月19日にそれぞれ燕三条地場産業振興センターにて開催しました。 なお、市の施設を使用し、3会場に分散して開催した令和3年度と比較して、令和4年度は会場借上料（811千円）が皆増するなどしたため、令和3年度比で593千円の増となりました。
117	中央公民館管理運営費	中央公民館の管理運営を行いました。 なお、会計年度任用職員1名分を中央公民館事業から移行したほか、光熱水費の高騰や、地下室建具の修繕を行ったこと等により、令和3年度比で、8,222千円の増となりました。
118	中央公民館事業	青少年や成人、高齢者などの幅広い年齢層を対象に市民教養講座、つばめ目耕塾、燕大学（大河津分水通水100周年事業）、子ども体験講座、スマホ教室、風の子くらぶなどの講座を開催しました。 なお、会計年度任用職員1名分を中央公民館管理運営費に移行したため、2,028千円の減となりました。
119	地区公民館管理運営費	吉田公民館・分水公民館の管理運営を行いました。
120	地区公民館事業	各地区公民館で利用団体の育成と発表の場として、文化祭を行うとともに、成人や青少年を対象として講座を行いました。 なお、新型コロナウイルス感染症で中止となっていた事業（芸能祭など）を再開したため、令和3年度比で378千円の増となりました。
121	分館管理運営費	中央公民館の5分館の管理運営を行いました。また、中央公民館の3分館、吉田公民館の2分館の指定管理業務委託を行いました。
122	分館事業	中央公民館の5分館において、各種教室や文化祭などの地域に密着した事業を行いました。
123	市民交流センター管理運営費	燕市民交流センターの管理運営を行いました。なお、光熱水費の高騰により、令和3年度比で1,623千円の増となりました。
124	吉田公民館改修事業	吉田公民館の改修工事（内装、外部建具、エレベーター等）を行いました。 なお、令和3年度の設計に基づき、改修工事を行ったことから、令和3年度比で168,151千円の増となりました。
125	吉田ふれあいセンター管理運営費	吉田ふれあいセンターの管理運営を行いました。
126	図書館管理運営費	図書館協議会（2回）を開催し、「第2次燕市子ども読書活動推進計画」の進捗管理や図書館運営について協議しました。 また、市内3図書館の指定管理業務委託を行いました。
127	青少年育成センター事業	街頭補導活動など青少年健全育成のための事業を行いました。 また、若者就労支援事業を三条地域若者サポートステーションに委託し、燕市内での出張相談、職場見学、ジョブトレーニング、各種セミナーなどを行いました。
128	文化会館管理運営費	文化会館の管理運営を行いました。また、文化会館運営審議会（2回）を開催し、文化会館の自主事業や利用状況等について協議しました。 なお、新型コロナウイルス感染症対策の緩和などから催事が増加したことなどにより、令和3年度比で1,701千円の増となりました。
129	文化会館自主事業	文化会館の自主事業として、市内小学校合同演劇鑑賞会など7事業を開催しました。 なお、大河津分水通水100周年事業の実施により、7,108千円の増となりました。
130	分水良寛史料館管理運営費	良寛遺墨や良寛ゆかりの人物の作品、資料の常設展示のほか、年4回の企画展を開催しました。

社会教育課

No.	主要事業名	事業の概要
131	長善館史料館管理運営費	長善館の功績を伝えるための資料の常設展示のほか、年4回の企画展を開催するとともに、引き続き、筑波大学と連携して長善館門下生の動向や教育内容についての調査研究を行いました。
132	文化財保護事業	文化財収蔵庫の維持管理を行うとともに、市指定文化財保護のための環境整備等を行いました。 なお、令和3年度に文化財収蔵庫の外壁・屋根修繕工事を実施したことにより、令和3年度比で9,207千円の減となりました。
133	埋蔵文化財事業	市内遺跡の発掘調査や各種工事の立ち会いなど埋蔵文化財の保護を行いました。また、遺跡出土品展を開催して、埋蔵文化財の公開活用に努めました。 なお、令和4年度から石港遺跡の本発掘調査を行ったことから、令和3年度比で308,927千円の増となりました。
134	文化振興事業	文化団体（文化協会、郷土史研究会連合会）に対する活動支援、燕市美術展覧会、良寛書道展の開催、「郷土史燕」、「文芸つばめ」を刊行しました。 なお、大河津分水100周年事業として、偉人漫画「鈴木文台」の制作や「郷土史燕」の分水特集号の増刷を行ったほか、コロナ禍で開催を控えていたつばめっ子かるた大会を開催したことから、令和3年度比で5,969千円の増となりました。
135	水道の塔保存活用事業	国登録有形文化財「旧燕市浄水場配水塔」の保存活用について、文化庁と協議を行いました。
136	体育振興費	燕市スポーツ協会と燕市スポーツ少年団の活動を支援するとともに、スポーツ推進委員との連携により、地域スポーツの振興に努めました。 なお、令和3年度は第2次燕市スポーツ推進計画に関するアンケート調査を実施したことから、令和3年度比で164千円の減となりました。
137	生涯スポーツ振興費	燕さくらマラソン大会や健康づくり教室、各種スポーツ大会を開催しました。
138	東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流事業	東京ヤクルトスワローズと縁の深い4都市（燕市、松山市、浦添市、西都市）の交流事業として、第10回東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流大会を燕市で開催しました。 なお、令和3年度は本大会（浦添市開催）が中止となったことから、令和3年度比で2,524千円の増となりました。
139	ゆめみらいスポーツ教室	スポーツクリニック（ミズノビクトリークリニック）を、東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーとして継続するため、陸上競技、バドミントン、バレーボールのオリンピックを講師として招き、小中学生向けに夢や希望を与える教室を開催しました。
140	体育施設管理運営費	燕市体育センターほか24体育施設の指定管理業務委託を行いました。また、燕北多目的武道場、分水プールの施設管理を行いました。 その他、小中川地区コミュニティセンターの借地解消に伴う用地購入に加え、防球ネットの移設とナイター照明設備の解体などにより、令和3年度比21,258千円の増となりました。
141	三条・燕総合グラウンド施設組合管理運営費	三条・燕総合グラウンドの管理運営を三条市と共同で行いました。 なお、令和3年度に写真判定装置及び2tダンプを購入したことから、令和3年度比で4,481円の減となりました。
142	分水多目的屋内運動場改修事業	分水多目的屋内運動場1号棟改修工事に係る設計業務を委託しました。
143	スポーツランド燕改修事業	スポーツランド燕の体育館、屋内練習場、外灯、ナイター設備の照明LED化改修を行いました。 なお、令和3年度の設計に基づき、改修工事を行ったことから、令和3年度比で186,871千円の増となりました。
144	吉田トレーニングセンター（ビジョンよしだ）大規模改修事業	令和3年度から継続して吉田トレーニングセンター（ビジョンよしだ）の大規模改修工事（内外装やボイラー設備の更新、トレーニングルームの拡充等）を実施しました。
145	スケートボード場整備事業	スケートボード場整備事業の設計業務委託を行いました。 なお、同一年度で整備工事を予定していましたが、コンクリート施工を天候の良い時期に行うため、令和5年度に繰り越し工期を延長しました。
146	小中川小学校グラウンドバックネット等整備事業[明許繰越]	燕市の建物系公共施設保有量適正化計画に基づき、小中川地区コミュニティセンターソフトボール場の借地を解消するため、用地測量等業務を令和3年度から繰り越して委託しました。
147	吉田トレーニングセンター（ビジョンよしだ）大規模改修事業[明許繰越]	令和3年度から継続して吉田トレーニングセンター（ビジョンよしだ）の大規模改修工事（内外装やボイラー設備の更新、トレーニングルームの拡充等）を実施しました。

社会教育課

No.	主要事業名	事業の概要
148	開放施設管理費	市内小中学校の体育館およびグラウンドの一般開放を行いました。 なお、令和3年度に燕西小学校グラウンドの防球ネット張替工事を実施したことから、令和3年度比で10,893千円の減となりました。
149	学校開放施設ナイター設備 改修事業	燕北小学校及び吉田北小学校のナイター照明設備LED化改修工事を実施しました。 なお、令和3年度の設計に基づき、改修工事を行ったことから、令和3年度比で112,463千円の増となりました。

IV. 教育委員会の会議及び教育委員の主な活動状況

1 教育委員会の会議

●4月定例教育委員会【令和4年4月26日（火）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

（３）寄附報告

報 告：報告第 4 号 共催・後援の教育長専決報告について

議 案：議案第15号 学校薬剤師の委嘱について

議案第16号 燕市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱について

議案第17号 燕市学校給食センター調理配送等業務委託事業者評価委員会委員の委嘱について

議案第18号 燕市教育行政評価委員会委員の委嘱について

議案第19号 第3次燕市学校教育基本計画検討委員会委員の委嘱について

議案第20号 燕市立小中学校における衛生管理者及び衛生推進者の選任について

議案第21号 燕市立小学校及び中学校における非常かけつけ人の委嘱について

議案第22号 燕市学校運営協議会委員の委嘱について

議案第23号 燕市 Good Job つばめ推進事業実行委員会委員の委嘱について

その他：（１）令和4年第2回燕市議会臨時会（教育委員会関係抜粋）

1）専決処分の報告について（令和3年度燕市一般会計補正予算（第16号））

2）令和4年度燕市一般会計補正予算（第1号）

（２）燕市地域レジリエンス自立分散型エネルギー設備等導入事業（燕市立吉田南小学校）プロポーザルの結果報告について

（３）「羽ばたけつばくろ応援事業」審査員の選任について

（４）その他

1）「読解力」育成プロジェクトについて

●5月定例教育委員会【令和4年5月31日（火）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

（３）寄附報告

報 告：報告第 5 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 5 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第24号 燕市学校給食運営委員会委員の委嘱について

議案第25号 燕市部活動の在り方検討委員会委員の委嘱について

- 議案第26号 燕市生涯学習人材バンク事業実施要綱の一部改正について
- 議案第27号 燕市社会教育委員の委嘱について
- 議案第28号 燕市図書館協議会委員の委嘱について
- 議案第29号 燕市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
- 議案第30号 燕市スポーツ推進委員の委嘱について
- 議案第31号 燕市公民館運営審議会委員の委嘱について
- 議案第32号 燕市文化財調査審議会委員の委嘱について
- 議案第33号 燕市文化会館運営審議会委員の委嘱について
- 議案第34号 燕市立学校統合準備会設置要綱の制定について

●6月定例教育委員会【令和4年6月29日（水）】

諸報告：（1）行事報告及び行事予定

（2）教育長報告

（3）寄附報告

報 告：報告第 6 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 6 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第35号 燕市就学援助実施要綱の一部改正について

その他：（1）令和4年第2回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1）一般質問の概要について

2）財産の取得について（吉田トレーニングセンタートレーニングマシン）

3）三条市、燕市、加茂市、田上町及び弥彦村並びに新潟県三条・燕総合グラウンド施設組合の公の施設の相互利用に関する協定の一部変更について

●7月定例教育委員会【令和4年7月27日（水）】

諸報告：（1）行事報告及び行事予定

（2）教育長報告

（3）寄附報告

報 告：報告第 7 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 7 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第36号 燕市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について

●8月定例教育委員会【令和4年8月23日（火）】

諸報告：（1）行事報告及び行事予定

（2）教育長報告

報 告：報告第 8 号 共催・後援の教育長専決報告について

議 案：議案第37号 燕市立学校統合準備会委員の委嘱について

議案第38号 燕市 ICT 教育推進協議会委員の委嘱について

議案第39号 燕市立小学校及び中学校における非常かけつけ人の委嘱（変更）について

●9月定例教育委員会【令和4年9月28日（水）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

報 告：報告第 9 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 8 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第41号 燕市学校支援地域本部実行委員会委員の委嘱について

議案第42号 燕市子ども・子育て会議委員の委嘱について

議案第43号 燕市子どもを育む推進協議会委員の選任について

その他：（１）令和4年第3回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1）一般質問の概要について

2）令和4年度全国学力・学習状況調査の結果（概要）

3）燕市いじめ防止基本方針の一部改正について

4）スポーツランド燕スケートボード場整備事業の進捗状況について

●10月定例教育委員会【令和4年10月27日（木）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

（３）寄附報告

報 告：報告第10号 専決処分の報告について

報 告：報告第11号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 9 号 新規共催・後援申請について

●11月定例教育委員会【令和4年11月24日（木）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

（３）寄附報告

報 告：報告第12号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第10号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第44号 燕市いじめ防止対策等専門委員会委員の委嘱について

●12月定例教育委員会【令和4年12月26日（月）】

諸報告：（１）行事報告及び行事予定

（２）教育長報告

（３）寄附報告

報 告：報告第13号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第11号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第45号 燕市子どもを育む推進協議会委員の選任について

議案第46号 燕市いじめ防止対策等専門委員会委員の委嘱について

その他：(1) 令和4年第4回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1) 一般質問の概要について

2) 第3次燕市学校教育基本計画（素案）について（議会説明後結果報告）

3) 令和4年度燕市一般会計補正予算（第9号）

4) 吉田トレーニングセンター（ビジョンよしだ）リニューアルオープンについて

●1月定例会教育委員会【令和5年1月26日（木）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定

(2) 教育長報告

(3) 寄附報告

報 告：報告第 1 号 共催・後援の教育長専決報告について

議 案：議案第 1 号 燕市学校運営協議会規則の一部改正について

その他：(1) 令和4年度燕市学校給食喫食量調査について

●2月定例会教育委員会【令和5年2月21日（火）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定

(2) 教育長報告

報 告：報告第 2 号 共催・後援の教育長専決報告について

議 案：議案第 2 号 燕市吉田トレーニングセンター条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則の制定について

議案第 3 号 燕市吉田トレーニングセンター条例施行規則の一部改正について

●3月定例会教育委員会【令和5年3月27日（月）】

諸報告：(1) 行事報告及び行事予定

(2) 教育長報告

(3) 寄附報告

報 告：報告第 3 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第 1 号 新規共催・後援申請について

議 案：議案第 5 号 燕市教育委員会組織機構の見直しに伴う関係規則の整備に関する規則の制定について

議案第 6 号 燕市教育委員会組織機構の見直しに伴う関係訓令の整備に関する訓令の制定について

議案第 7 号 燕市教育委員会組織機構の見直しに伴う関係告示の整備に関する告示の制定について

議案第 8 号 燕市教育委員会を実施機関とする燕市個人情報保護条例施行規則の廃止について

議案第 9 号 燕市教育委員会が行う共催又は後援に関する承認基準要綱の一部改正について

- 議案第10号 燕市教育行政評価委員会委員の委嘱について
 議案第11号 燕市学校支援地域本部地域コーディネーターの委嘱について
 議案第12号 学校医等の委嘱について
 議案第13号 第3次学校教育基本計画（案）について
 議案第14号 燕市公民館条例施行規則の一部改正について
 議案第15号 燕市立図書館条例施行規則の一部改正について
 議案第16号 燕市吉田ふれあいセンター条例施行規則の一部改正について
 議案第17号 燕市立小中学校における事務長及び事務主任の任命について
 議案第18号 燕市立児童クラブ実施時間延長事業実施要綱の一部改正について
 議案第19号 燕市なかまの会要綱の一部改正について
 議案第20号 燕市児童クラブ条例施行規則の一部改正について

その他：（1）令和5年第1回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

- 1）一般質問の概要について
- 2）契約の締結について（燕西小学校外装等改修工事（建築））
- 3）燕市建物系公共施設保有量適正化計画等の進捗について

2 総合教育会議

●令和4年度 燕市総合教育会議【令和4年11月24日（木）】

議題：（1）次期教育大綱の方向性について

●令和4年度 燕市総合教育会議【令和5年3月27日（木）】

議題：（1）次期教育大綱の方向性について

3 教育委員の視察

開催日	視察先	視察内容
6月29日（水）	東部学校給食センター	試食
7月5日（火）	大関小学校	社会科授業見学
	ビジョンよしだ	工事現場見学
7月15日（金）	燕北中学校	理科授業見学
	ビジョンよしだ	完成見学
3月27日（月）	燕市スポーツパーク	テニスコート見学

4 教育関係会議

- 全県教育長会議（4/13（水）新潟県自治会館）
- 新潟県都市教育長協議会春季定期総会（佐渡市(書面開催)）
- 関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会（栃木県益子町(書面開催)）
- 新潟県市町村教育委員会連合会定期総会（妙高市(書面開催)）
- 新潟県都市教育長協議会秋季定期総会（10/21（金）魚沼市）